

受注企業動向調査結果

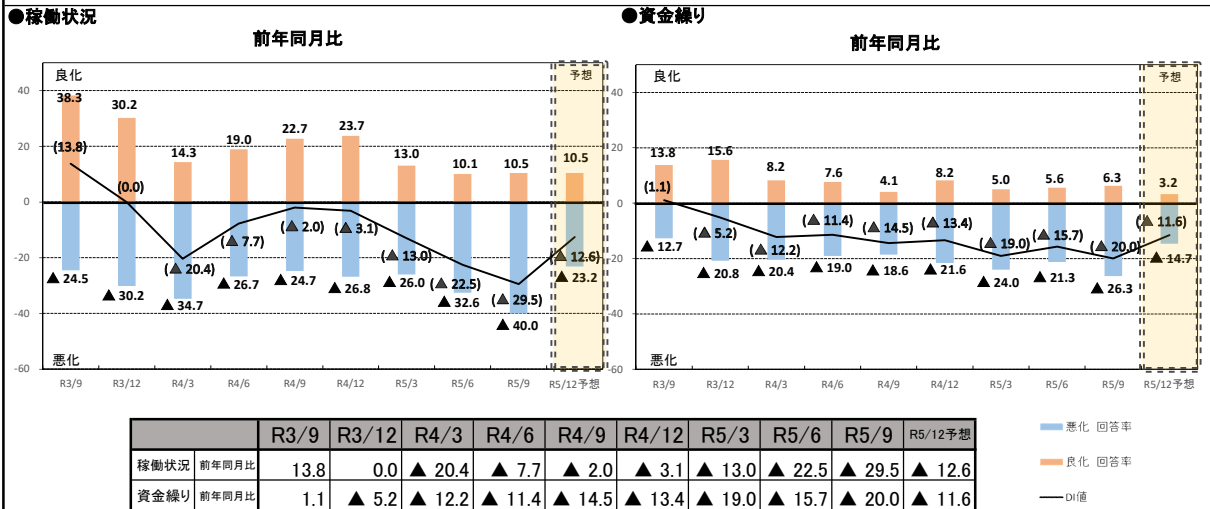
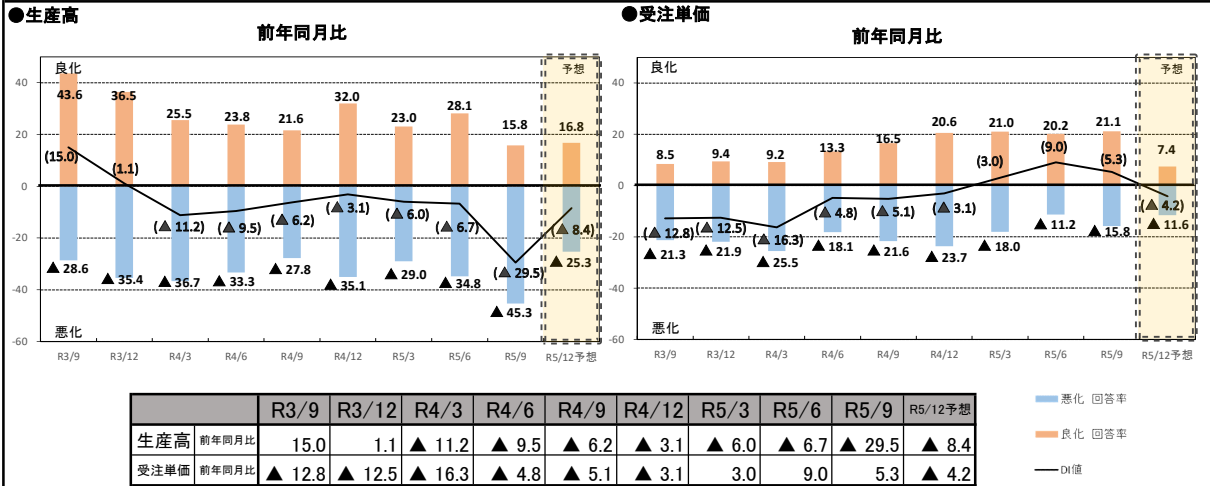
-2023.9-

- 調査時点 令和5年9月調査(令和5年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 95社(回答率:63.33%)

<業種内訳>

| | |
|--------|-----|
| プラスチック | 9社 |
| 鉄鋼・非鉄 | 5社 |
| 金属製品 | 17社 |
| 一般機械器具 | 21社 |
| 電気機器 | 19社 |
| 輸送用機器 | 7社 |
| 精密機器 | 10社 |
| 縫製 | 7社 |
| 計 | 95社 |

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲29.5で前回の▲6.7から22.8ポイント減となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは5.3で前回の9.0から3.7ポイント減となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは▲29.5で前回の▲22.5から7.0ポイント減となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは▲20.0で前回の▲15.7から4.3ポイント減となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲8.4、受注単価は▲4.2、稼働状況が▲12.6、資金繰りは▲11.6という予想になった。
- ・その他自由意見として、
 - ・電気代の増加に受注単価が追いつかない。
 - ・人手不足が一番の悩み。
 - ・価格転嫁の効果が進みはじめるも、客先は発注を絞る動きを見せている所もあり、減収減益が予想される。
 - ・電力料は補助継続も削減後の率での継続。冬にかけ影響避けられず。
 - ・半導体の前工程部分の消耗品を製造しているが、減産の影響で生産量が減少。回復は来年度以降になりそう。
 - ・全体的に注文数が減ってきている。
 - ・各取引先仕事が無く、困っている。今後のことが心配。
 - ・新規取引先開拓中で新たに4社からオファーがあり、その準備を進めている。
 - ・受注量、生産高は少し良くなってきているが、仕入れ、その他の経費の値上げにおいつかない状況。
 - ・客先の状況次第だが、まだまだ状況が好転していない。多少資金繰りに気を配っている。
 - ・客先からの新たな案件が増えてきてます。
- ・という意見が寄せられた。